

# 東京白楊だより

vol.39

H.28 8.6 (2016)

白楊ヶ丘同窓会東京支部

旧制函館中学校 函館中部高等学校

<http://kanchu-tokyo.sakura.ne.jp/>



支部長交代挨拶

第39回親睦大会報告

同期会だより

第60期 三・三会 第67期 志丸会

第68期 よいよい会 第70期

第72期 さつき会

函・中・人

第68期 今井浩三 (医師)

第72期 丹羽修 (ラオトラファ)

第99期 朝緑 高太 (殺陣役者)

第101期 長谷川 智之 (トランペット奏者)

随想

「私とゴルフ」 第61期 金子 公彦

樋口隆士先生からの函中歴史ウラ話

「白楊魂」 扁額発見

宇江佐真理さん追悼

『ど・ど・どの同窓会』 第68期 木戸 正文

「たすきをなく者」 第71期 加納 元雄

「修学旅行乗り遅れ事件」 第78期 垣坂 清

新企画  
発動!





67期 昭和40年卒

安田康次

同窓会員の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのことと存じます。

日頃より同窓会活動に皆様方のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から早5年が過ぎましたが、いまだに故郷に帰れず、避難されている方が多数いらっしゃいます。中、今度は熊本地震が発生、甚大な被害が発生しました。次はどこに起こるか不安な日々でございますが、我々も十分な対策を立て万一に対応できるように努力してまいります。

昨年は母校創立120周年式典、祝賀会が行われました。私も出席させていただきましたが、盛大で華やかな中にも、長い歴史の重さと荘厳さを感じ、あらためて函中生であったことに誇りと喜びを感じた次第です。東京支部からも多数の方が出席されたことと思います。同窓会も負けずに歴史を作っていききたいと思います。

今年3月26日には北海道新幹線が開業し、函館が益々近い存在となりました。これからも故郷へ貢献できる同窓会にしていきたいと考えております。

今年の親睦大会は10月22日、昨年と同じ「グランドアーク半蔵門」で開催いたします。是非、奮ってご参加ください。皆様と一緒に楽しい会にしたいと思います。

今年、東京支部は40周年を迎えることになりました。過去の記録を見ますと第一回親睦大会には366名の出席者がいました。最近は半数近くになってしまい、残念でなりません。多くの方に参加してもらえないような親睦大会にするにはどうすればよいか、役員一同悩んでいるのが現状です。若い方の評議員、理事への就任を切に願っております。

早いもので私は今年支部長就任9年となりました。4月の評議員会で支部長人事案が承認され、今回の親睦大会をもちまして、退任することになりました。後任には76期の白川正広氏にお願いし、他の役員も交代し、70期代を中心に若返りを図りました。

9年間支部長をやらせていただきましたが、就任前4年ほど大阪で単身赴任していたこともあり、名前だけの理事が突然支部長と一言うことで、大変戸惑っております。それでも9年もの長い間支部長を務められたのは、東京支部の会員の皆様、役員の方々に支えられながらご指導、ご支援いただけたおかげと感謝しております。

当支部の諸問題である会員数の減少や、事務所問題など多々あり、中々解決出来る案も浮かばず、同窓会にどれだけ寄与出来たかわかりませんが、何とか後任に引き継ぐことが出来てホッとしております。今後でも微力ながら同窓会にかかわりながら発展に努めてまいります。

最後になりますが、白川新体制への指導、ご協力そしてご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。本当に長い間、お世話になり有難うございました。





76期 昭和49年卒 白川正広

皆さま、初めまして。76期の白川正広と申します。先日開催の評議員会にて御承認いただき、今回の大会をもって安田支部長の後任として支部長を拝命することになりました。よろしくお願い申し上げます。

大役をお引き受けするにあたり同窓会の発展についての思いを述べたいと思います。まず、これまで同窓会の運営に係ってこられた先輩の皆様や、東京支部の親睦大会にご出席された経験をお持ちの皆様を裏切らないよう、「これまでやれてきたことを今後も続ける」という趣旨の「活動の継続」に注力したいと思います。

一方、同期の集まりには参加しても同窓会への係わりが薄い方が多数おられます。一般論として「同期会のほうが活発に活動している」ということが言えるようで、定期的に飲み会、ゴルフコンペあるいは旅行を楽しんでおられ、この「白楊だより」にも、活発な活動の一端が各期から寄せられています。

これまで40年近く続いてきたこの首都圏における同窓生の集まりを、今後も次々とバトンタッチしながら引き続き、50年、100年と、維持・発展させていくためには、「同期会重視」の皆様がより身近に同窓会を感じ、同期で連絡を取り合いながら親睦大会に参加する、ということを進んでいくことも大切だと考えます。それには、同窓会が魅力的でなければなりませんし、親睦大会が面白くなければなりません。認識していません。ぜひとも、皆さまから、同窓会をさらに面白くするようなお知恵をご提供いただき、それを具体化していきたいと思えます。

さらに、首都圏に在住しているものの、同期の集まりにも同窓会にも参加していないという多数の皆さんを仲間にしていくために、この「白楊だより」も何等かの偶然によって、その方々の手にわたることを期待したいです。FacebookやLineのような様々なインターネットのツール等も役に立つのではないかと考えております。

時代の進展によって同窓会の運営そのものも形が少しずつ変化していくものと思えますが、変化自体が目ではありません。伝統を踏まえ、その上で継続・発展させていくことが重要と考えております。

歴代の支部長の皆様と比較するまでもなく未熟で力不足であることは自覚しておりますが、皆様からのご意見を賜り、理事会や評議員会で議論を尽くし、率先して同窓会の発展に尽力していく覚悟です。

白楊ヶ丘同窓会東京支部へのご支援・ご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。



# 学校の近況について

北海道函館中部高等学校  
第38代校長 中島 悟



## 1 はじめに

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には日頃より本校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、昨年十月十七日に行われました「北海道函館中部高等学校創立百二十周年記念式典」に際しましては、東京支部の皆様をはじめ多くの関係者のご出席を賜り盛大に式典が挙行できましたことを厚くお礼申し上げます。私は、本年四月の人事異動によりオホーツク管内の網走南ヶ丘高校から本校第三十八代校長として赴任して参りました。創立百二十年を超える歴史と伝統のある函館中部高校へ着任できましたことは大変光榮に存じますとともにその責任の重さに身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、函館中部高校の更なる発展と充実に向けて全力で取り組んで参りますので皆様には今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

## 2 自己紹介

借越ではございますが、先ずは自己紹介をさせていただきます。私は空知管内の奈井江町の出身で、数学の教員として

## 4 学校の近況

体で合格者に占める道内出身者の割合は三十七・八パーセントで四割を切っています。北大は全国的にも人気の高い大学ですが、総合入試の導入以来、道外勢との競争が年々厳しさを増しています。

道北の稚内高校を振り出しに札幌手稲高校・月形高校に勤務し、教頭として沼田高校・土士幌高校、倶知安高校、校長として真狩高校、網走南ヶ丘高校、そして函館中部高校に赴任して参りました。道南函館は初めての任地となります。函館に来て五稜郭公園の見事な桜並木や市内に多数現存する歴史的建造物を観るたびに他の地域にない函館の素晴らしい景観と温暖な気候風土に魅了されています。

## 3 進路状況

この春に卒業した卒業生二百三十七名の進路状況についてお知らせします。国立大学合格者は現役百十三名(昨年度百十二名)・過年度二十一名・計百三十四名、私立大学合格者は現役百七十一名・過年度七十名、計二百四十一名、高等看護学校を含む専門学校合格者は十九名、公務員等就職者は五名でした。国立大学の現役合格者は二年連続百名を超え、卒業生は大いに健闘してくれました。生徒の頑張りは勿論のこと、教職員の粘り強い指導も高く評価したいと思います。一方で北大をはじめとする難関大学への合格者が伸び悩んでいるのも事実です。今年度の北大合格者は十七名(現役十二名)でしたが、北大全



部活動が大変活発な本校ですが、今年度も生徒の部活動の加入率は九十一パーセントを超え、生徒は勉強に部活動に全力で取り組んでいます。高体連、高文連の支部予選を突破し、全道大会へ進出した部活動は六月末現在、陸上競技部、女子バスケットボール部、男女バレーボール部、バドミントン部、硬式テニス部、卓球部、柔道部、剣道部、空手道部、弓道部、水泳部、体操部及び放送局となっています。女子バスケットボール部は二年連続の支部大会優勝、男子剣道部は平成に入ってから初めての団体優勝に輝きました。これから大会が予定されている野球部、そして吹奏楽局をはじめとする文化系の部活動の活躍にも期待したいと思っています。

## 5 学校経営

現在進められている教育改革は急速な勢いで進展しています。こうした教育改革の重点として次の四

点

## 6 おわりに

を掲げました。第一に「生徒の将来ビジョンを育み、進路を実現する確かな学力を育成すること」、第二に「校内の研究・研修活動を活発にして、教職員の資質能力・教科指導力の向上に努めること」、第三に「校内の連携を密にして、組織的な学校運営を推進すること」、第四に「地域や保護者への説明責任を果たし、開かれた学校・信頼される学校・期待される学校づくりに努めること」です。

教育は人なり、と言われますが、教育の成果は直接生徒の指導にあたる先生方の力量に負う部分が大いものです。幸い本校は経験豊富で優秀な教職員に恵まれていることや中部高校出身の先生が多数在籍しており、母校への熱い想いを持っていることが大きな強みになっています。校長として、こうした優秀な先生方が持つ力を遺憾なく発揮できるようにしていくことが私の責務であると考えています。

最後に校舎大規模改修についてお知らせいたします。現在の校舎は、平成五年に建設されたから二十年以上が経過しています。校舎全体の老朽化も年々目立っています。この度、大規模改修工事の対象校となりました。今年度は基本設計の年度で、工事は来年度から二年間にわたり行う予定となっています。

終わりになりますが、創立百二十年の歴史の中で育まれてきた函中の伝統をこれからも大切にしていきたいと、少子高齢化とグローバル化の進展が著しい今日、時代の流れや変化を敏感に感じ取り、地域の中心校として時代をリードする学校づくりに努めて参ります。皆様にはこれからも本校へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、白楊ヶ丘同窓会東京支部の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げ、近況報告といたします。



# 第39回白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会

## 親睦大会報告

白楊ヶ丘同窓会 東京支部

85期幹事団



第39回となる東京支部親睦大会は、2015年11月14日(土曜)正午より、グランドアーク半蔵門「華の間」にて、総勢175名の出席を得て、盛大に行われました。

テーマは「今こそ、函館！」



受付嬢

今大会の幹事は、85期(昭和58年卒)のメンバーでした。今大会のテーマは「今こそ、函館！」。私たちが高校生生活を過ごした頃と比べると寂れてしまったなあと感じるの否めない函館ですが、母校の120周年に加え、来年の北海道新幹線開業を控え、今一度元気になるてもらいたい、再び脚光を浴びてもらいたい、そういう気持ちを含めて、「今こそ、函館！」をテーマとしました。

今回も、前年同様の二部構成とし、第一部が講演会、第二部が懇親会で

した。第一部の司会は幹事85期の中から、柴田基子氏と新田克也氏が担当し、第二部の司会は冒頭から乾杯までを78期岡部あさ子氏が、その後を再び柴田・新田両氏が受け持ちました。



司会 柴田基子氏・新田克也氏

司会 岡部あさ子氏

### 全員着席形式

例年の大会では基本的に立食形式で椅子も限られていましたが、お年を召した方には辛いという声があり、今回は第一部、第二部共に全員着席形式としました。

### 第一部 講演会(イベント)

第一部の講演会は、講師として、映画監督の富樫森氏をお招きし、85期の木村建哉成城大学准教授をインタビュアーとして、「映画監督が語る被写体としての函館」と題してご講演をいただきました。富樫監督は、竹内結子さん・吉沢悠さんが主演をした、函館を舞台にした映画『星に願いを。』の監督をされています。講演では、函館でオールロケが行われた『星に願いを。』の映像を紹介しながら、木村准教授の巧みなインタビューにより、「被写体としての函館」のユニークなところが語られていきました。



講演会 富樫森監督・木村建哉氏



私たちがよく知っているはずの函館ですが、「プロは、こういうところに目を付けるんだ」と思わせる大変興味深いお話で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。例年とは少し趣向を変えた企画でしたが、大変好評でした。

**第二部懇親会スタート**

休憩を挟んで午後一時から第二部がスタートしました。初めに、主催者を代表して、白楊ヶ丘同窓会東京支部支部長の安田康次氏よりご挨拶がありました。

続いて、旧制函館中学校入学の方々に「登壇いただき、78期の島津路郎氏のピアノ伴奏、105期の小林秀輝氏のリードで同窓会歌を斉唱しました。



同窓会歌斉唱

その後、11名の来賓をご紹介し、来賓を代表して函館中部高校の千原治校長と函館市役所観光部伊与部隆次長から、ご挨拶を頂戴しました。ついで、石井直樹白楊ヶ丘同窓会会長のご発声で乾杯がされ、歓談に移りました。

**盛り上がる懇親会**

歓談の間には、函館市役所制作の函館紹介のDVD、函中120周年を記念して制作された学校紹介のDVDなどの映像が流されました。

学校紹介のDVDとともに、開演直前に函館からJRで駆けつけてくれた母校の教員である85期の金澤恵氏から母校の「今」が紹介されました。



85期 金澤氏



記念DVD上映



また、飛び入りでの歌の披露などもあり、大変盛り上がりました。その後、新入会員として、平成27年卒業の117期二名の紹介がされ、初々しい姿に大きな拍手が起りました。



新入会員の紹介

やがて宴もたけなわとなり、85期37名が登壇し、代表して評議員加戸茂樹からご挨拶を申し上げました。「富樫監督の映画にも出てきた歴史ある、懐かしい函館を大事にしながら、それを今の函館にどう繋げるかを考えるきっかけに今日の大会がなればと思います。幹事を務めたおかげで85期のみんが卒業以来またこうして会うことができましたこと大変感謝しています。」との内容でした。会場より暖かい拍手をいただき幹事一同大変感激しました。

また、次回第40回懇親会について、平成28年10月22日(土曜日)正午から、場所は同じくグラウンドアーク半蔵門で開催されることが案内されました。

**校歌斉唱&三本締め**



全員で校歌斉唱

恒例の校歌斉唱。全員起立し、音楽部OB OGは登壇し、島津氏の伴奏、小林氏のリードにより、校歌が一番から四番まで高らかに斉唱されました。その後、99期の朝緑高太氏の音頭で三本締めとなり、午後3時にお開きとなりました。



三本締め

今大会の参加者のお帰りに、お土産として、函館中部高校の母の会が販売している白楊クッキーが配られました。五島軒製で、中部高校の校章が入ったクッキーです。次回第40回親睦大会の幹事を86期に引き継ぎなかつたのは残念でしたが、この度は、事務局の方々の様々なご指導、ご配慮を賜り、第39回親睦大会をつつがなく終えることができました。どうも有り難うございました。

(85期評議員 加戸茂樹)







## 第39回 親睦大会出席者一覧

平成27年11月14日(土) グランドアーク半蔵門

## 来 賓

函館中部高等学校 校長	千原治	函館東高等学校関東青雲同窓会 副会長	村田学
白楊ヶ丘同窓会 会長	石井直樹	東京函商同窓会 会長	汐谷進
函館市役所観光部 次長	伊与部隆	函館工業高等学校同窓会関東支部 支部長	本間和吉
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 支部長	黒田信彦	函館ラ・サール学園同窓会東京支部 副支部長	工藤博己
白楊ヶ丘同窓会関西支部 支部長	佐藤裕三	函館ラ・サール学園同窓会東京支部 副支部長	中富清和
函館西高等学校つばきヶ丘同窓会東京支部 会長	佐々木太郎		

- 第43期 昭和16年卒 神山茂郎  
 第51期 昭和23・24年卒 小野寺吉彦/松原雅典/三國比左男  
 第52期 昭和25年卒 長島康  
 第54期 昭和27年卒 松田守正/遠藤宏(長島)/澤口幹男  
 第55期 昭和28年卒 赤澤高/阿部健/香西慧/河村和子/横井静子(井波)  
 第56期 昭和29年卒 加藤正秋/塚本弘子  
 第57期 昭和30年卒 椎名三五/水江晋一/川口千代(大島)/小竹嘉子(滝田)/鈴木幸子/村嶋泰子  
 第58期 昭和31年卒 坪田憲俊/永野巖  
 第59期 昭和32年卒 笠原静雄/小林重行/真船昭/山川泰宏  
 第60期 昭和33年卒 飯田幸平/上平慶一/白戸寿男/長正太郎/松田栄美子(木下)/宮川満子(成田)  
 第61期 昭和34年卒 加藤紀興/金子公彦/菊池紀邦/藤田美穂子(堀田)/三上和子(清水)  
 第62期 昭和35年卒 大味勲/打田恭子(石坂)  
 第63期 昭和36年卒 小野武司/戸村文彦/中村崇/山崎良英/依田洋次/石崎篤子/土橋道子(山本)/橋本軸子(守谷)  
 第64期 昭和37年卒 池田斎/佐々二郎/田中公子  
 第66期 昭和39年卒 石塚昌子(前)  
 第67期 昭和40年卒 石橋信彦/岩間昌夫/加賀幸彦/相馬研二/高木隆弘/松田幹夫/三上英雄/宮川憲司/安田康次  
 第68期 昭和41年卒 白崎淳一郎/木戸正文/大河原綾子(小沢)  
 第69期 昭和42年卒 梅田五郎/笹光政/佐藤一廣/梅田やよい(上野)/斎藤裕子(三上)/米木かをり  
 第71期 昭和44年卒 加納元雄/相馬篤  
 第72期 昭和45年卒 神垣善一/小林繁治/笹川浩史/松本浩/村田秀樹/渡部敏雄/佐野香苗(小岡)  
 第73期 昭和46年卒 小栗卓司/山田朗  
 第75期 昭和48年卒 金丸洋一  
 第76期 昭和49年卒 白川正広/曾我正彦/高野勝弘/高崎美也子(古谷)

- 第77期 昭和50年卒 小倉正信/小林広武  
 第78期 昭和51年卒 垣坂清/島津路郎/長澤一徳/若山雅行/柴山智恵子(相馬)/岡部あさ子(三浦)  
 第79期 昭和52年卒 樋口澄則  
 第80期 昭和53年卒 片瀬裕巳/倉知郁生  
 第81期 昭和54年卒 松永久/進藤聖(山岸)/渡辺由美子(渡辺)  
 第82期 昭和55年卒 清水真/本田光宏/厚谷育代  
 第83期 昭和56年卒 坂東正樹/端博幸/田口志保(新沼)  
 第84期 昭和57年卒 佐藤公彦/藤田勲/村橋全/今井雅子/江原みちな(吉沢)/吉田雪子(増田)  
 第85期 昭和58年卒 石岡秀昭/猪股孝悦/上野隆史/大場丈司/岡部友年/加戸茂樹/金澤恵/金谷浩史/木村建哉/小坂祐一/小林俊哉/齊藤実/関村恒世/谷川茂樹/中垣暢聡/新田克也/藤田秀樹/松田守生/渡邊博幸/秋草和砂(佐野)/勇谷真樹(大橋)/岩淵薫子(栗原)/内山光美(田原)/大山康子(青山)/加戸幸子(若林)/小池郁恵(金田)/佐々木厚実(円山)/柴田基子(竹原)/杉浦美穂子(村上)/高井久美子(小島)/西浦愛恵(山村)/幡谷恵(大久保)/福田尚子/松本弥寿子(中島)/丸山比子(赤川)/光安圭子(澤田)/村松智子(佐々木)  
 第86期 昭和59年卒 荒川有紀(皆川)  
 第94期 平成4年卒 八十科大/山形リサ  
 第96期 平成6年卒 安間展/今田光信/長谷川賢幸  
 第97期 平成7年卒 野村武史/浦崎洋樹  
 第99期 平成9年卒 朝緑高太/渡辺俊悦  
 第105期 平成15年卒 小林秀輝/林利充  
 第114期 平成24年卒 泉琢也  
 第117期 平成27年卒 高木達崇/林桃子

同窓生参加者数 164名



# 同期会だより

## 第60期 三・三会 飯田 幸平

平成二十八年三月十七日(木)十二時三十分より、東京麹町にあるホテルポール麹町・サファイアの間で東京支部三・三会が開催され、メンバー計二十八人が集まりました。

受付では、会計を担当する松田さん(旧姓木下)、宮川さん(旧姓成田)が皆を迎え、函館の幹事森さんから送られた、新幹線開通予定で賑わっている函館の案内誌「浪漫函館」も配付されました。会場には同じく送られた二枚の大きなポスターが正面に貼られ、故郷(ふるさと)気分を盛り上げました。会は、飯田の司会で始まりました。幹事責任者内藤さんの開会挨拶では、昨年の函館での楽しかった函中創立一二〇周年記念会の話題や東日本大震災から五年後に、今日会に参加できたメンバーへの歓迎の言葉がありました。その後、昨年から今年までの物故者の黙祷を行い、冥福を祈りました。また、函館では来年の全国同期会を企画準備中との紹介もありました。我々の多くは今年喜寿を迎えることになりませんが、今回の記念のお話は、同期の医師の白戸さんから「健康について」でした。白戸さんは現役で診療を続け、地元の方の病のよろず相

談を引き受けています。

白戸さんからは、我々は七十歳も半ば過ぎになるので、まず転ばないことで、転んだら即寝たきりになることを銘記しておくこと。その予防のため、日常生活の留意事項十か条(当日パンフレットを配布)をしっかりと「実行すること」を強く勧められました。また、「歳だから」は禁句のようです。

続いて、函中野球部名三塁手だった本さんが元気に乾杯の音頭をとった後に、今日のお楽しみ三浦さんのエレクトーン演奏へと移りました。

今回は曲目の解説やエレクトーンの演奏法のデモなどもありました。

丸テーブル毎に四席に別れたメンバーは、バックに演奏を聴きながら美味しいうちそうと旨いお酒をいただき、歓談を楽しみました。被災地だった東北より参加した金田さん、門脇さんから地元のお酒とお菓子の差し入れがあり、皆さんは舌鼓をうちました。ありがとうございました。

お互い何度話しても飽きない高校生活の思い出、同期生の消息、現在の関心事や近況など、いつものように話題は尽きません。

演奏が終わった後、全員の名前と顔を確かめるために、司会者が名前を呼び、一人一人立って改めて顔見せをしました。すぐ忘れる我々はこれからも、全

員の紹介が必要のようです。

久しぶりででの参加や遠路から参加者の工藤さん、佐々木さん、佐藤大さん、金田さん(旧姓遠藤)、門脇さん(旧姓駒井)、栃沢さんからはそれぞれの近況についての話がありました。

特に、東北から参加した金田さんと門脇さんは東日本大震災後五年の節目をむかえましたこと、心がやや落ち着きを取り戻し、同期のメンバーとの再会が出来るようになったことと、それだけ身近の人を失ったことや環境の激変等で、心の傷が大きかったのでしょうか。言葉につまりながら当時の生活や現在に至るまでの状況を



話されましたが、大変であったことが改めて分かりました。

小浜さんから、配付された「浪漫函館」中に写真入りの森倉庫レンガ街、太刀川家住宅店舗は彼の祖父が建てたとの説明があり、明治は今につながっていました。

校歌を斉唱後、上平さんから来年の再会を約して閉会の挨拶がありました。

その後、時間の余裕のある人が集まって会場のホテル一階のカフェで二次会となりました。歓談の余韻を楽しみ、午後四時過ぎに散会となりました。

## 第67期 志丸会 平塚 平三郎

一 「古稀志丸会」札幌で開催

：H27年10月18〜20日

我々志丸会はおよそ5年毎に全国レベルの集まりを函館、札幌、東京の各地区が幹事となり実施している。

「古稀」を迎える歳となり当番幹事の札幌支部は、15年後85歳になることも鑑み今年が最後の開催であろうと熱意ほとばしる企画により、全国より66名が参加した。

### 第1日目

函館、札幌、東京の各地区代表より近況が報告された。私の心に刻み込まれたのは生まれ育った函館繁華街であった大門のアーケードが撤去されるとの事、往時の活況が消えたとの報告に一抹の寂しさを拭い得なかった。その

## 株式会社イコー建設

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣 (69期)

〒165-0033東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F  
電話：03 (3223) 0168(代) FAX：03 (3223) 0658  
mail：k-sato@f-rn.co.jp



グランドメゾン白金レジデンス

株式会社宮川憲司建築事務所  
Environmental Planning & Design  
<http://www.k-miyakawa-arch.co.jp>



## 志丸会

東京支部

第67期 昭和40年卒業



後「宴の会」に入り3年生時のクラス毎に着席し、歓談に入った。高校卒業以来、初めて会う人もおり50数年ぶりの再開を白髪、ハゲ、メタボの現在の姿を忘れ青春時代を大いに懐かしみ楽しんだ。



第2日目

札幌市内散策コースと余市散策コースに分かれて出発、私は余市コースを選び「マツサンの里、ニッカウヰスキー余市工場」を訪ねた。札幌から余市に向かう電車の車中隣に座った某女子との会話の中で：趣味の話となった：今何やってんの？：「謡」の真似やっつんの！：あーそう！：録音とって有るから聞く？：うん聞く  
その相手が悪かった：職業は元アナ

ウンサーだった。余市駅に降りるとすぐに正しい発声練習の場となった。余市の駅前で古稀を迎えるオジサンが大きな声を出して発声練習する羽目となり、恥ずかしくて懐かしい思い出となった。

ニッカの工場での試飲ではマツサンが初めて手掛けた「アップルワイン」のおいしさが印象に残った。その後バスで余市から美しい海岸線の景色を眺めながら小樽に向かった。

小樽の街を散策し昼食は寿司：寿司は函館が美味い！：観光のまち創りに小樽の熱意を感じた：

札幌に戻り「夕食の会」となった。各コースの散策した感想やエピソードを語り合いワイガヤ盛のうちに終了、その後二次会(シヨットバー)三次会(カラオケ)四次会(幹事の部屋で)午前1時過ぎに眠りにつく。

楽しく充実した2日間であった。次回5年後75歳時東京で予定されており、これを楽しみに翌日散会となった。

二・東京志丸会の活動状況

東京志丸会は毎年1月最終土曜日に新年会を開催している。これまで夜6時開催であったが今年よりお昼からの開催となった。お陰で女性の参加が増えた。：企画大成功！

春には「花見会」と称して新宿御苑で4月にオープン参加で開催：各自飲み物食べ物持参でやつて来る。当御苑は「アルコール類持ち込み禁止」特に花見の時期は入場時に持込物の検査がされるのだが参加人員の創意工夫により見事難関を突破し日焼けす

る季節でもないのに赤い顔をして静かに談笑をしている。

ある時は大雨の日に当り中止と思いきや熱意ある面々が決行、当然の如く当御苑は人影がなくて貸し切り状態で「東屋」で誰にも気兼ねなく宴会を楽しんだ。雨に霞んで見える新宿の高層ビル街が印象的であった。秋には「菊見会」と称して春同様に楽しんでる。皆健康で長く続くことを願っている。思いつくままに綴りました。お許しください。

第68期よいよい会 木戸正文

毎年二回(一月と六月)首都圏在住者を中心として同期会を開催している。

新年会(一月十六日)は折から東京ドームで開催の「ふるさと祭り東京・日本の祭り・ふるさとの味」で食と祭りを楽しんだ後、東京ドームホテルで会食とした。

初参加は越中陽子(幡谷)、渡辺憲幸さん。さて、北海道新幹線の開通に伴い函館市が観光PRを兼ねて「ふるさと祭り東京」の会場内で函館イカ踊りを披露するとの事で一月十日のステージに内藤、木戸、吉野(米一)、大河原(小沢)、雨宮(工藤)の五名が参加した。YouTube「函館イカ踊りh28・1・10」にアップされているのでご覧いただければと思う。(三分三十秒当たりと五分五十秒あたりから五人が写っている)。  
六月例会は、草津温泉に一泊、志賀

高原・長野善光寺参拝のコースで実施した。

今回は現役で働く者が少なくなったのと費用面でメリットが出ることから日曜出発のツアーで実施。浜松町バスセンター、池袋にそれぞれ集合、道中折々にガイドさんから大河ドラマ「真田丸」に因んだ真田家ゆかりの場所などの解説があり、建設中の八ッ場ダム、標高千五百メートル地点にある野反湖(のぞりこ)を経て草津温泉へ到着。翌月曜日の志賀高原はあいにくの雨で標高二千七百七十二メートル地点も残念ながら雲海の中だった。幸い善光寺では雨も上がり、ガイドさんお勧めの真つ暗な回廊を手探りで行く「お戒壇めぐり」では、しっかりと「極楽の錠前」を探りあて、極楽への道筋を皆さん確認。善光寺境内を散策の後、バスは一路帰途に。予定より早く池袋に着いたのでここで一部解散とし一杯やることにした。

丸山君から「The Bucket List」を飛行機の中で見た、棺桶



第71期東京地区同期会

紙面への広告募集!!

「東京白楊だより」第40号・2017年9月発行予定

お問い合わせ・申し込みは [kanchu-tokyo@r6.dion.ne.jp](mailto:kanchu-tokyo@r6.dion.ne.jp)

火ばしら会

東京支部

昭和42年卒業

69期





に入る前にやっておきたいリストとかいう意味。いい映画だったのでお勧めとの話。ジャック・ニコルソンとモーガン・フリーマンが主演。余命六ヶ月の二人が病院を抜け出して、最後の人生の過ごし方を見つげに旅する話。

我々もその時期が近づきつつあること否めず「The Bucket List」を考える年齢になった。出来ること、やりたいことは多少元氣のある今のうちにとの結論になった。追伸、札幌在住の田中英昭君が演歌の「花総あきら」として昨年デビュー。YouTubeで花総あきら「七夏の詩」定年めでたや音頭」がアップされている。

来年も一月・六月に例会を開催、今回都合のつかなかった方、是非ご出席いただきたい。ご案内はメールでお知らせしています。

木戸宛お問い合わせください。  
(tch10806@nifty.com)

第70期

佐藤 勝義

我等70期の同期会には、特に名称もなく、代表や幹事等も特に選任しておりません。

しかし、同期会としての歴史は古く、発足してから30年近く経っております。なぜこのように長く続いているかと申しますと、「誰かをリーダーとした同期会でなく、みんな平等であること」「グループごとの集団や学級別の派閥がないこと」「同期会への参加を強制していないこと」など……。



今回は「函中卒業50周年」の節目の開催となりますので、関東近郊の70期同期生皆さんの大集合を期待しております。

第72期

池田 英一

私たちが、函中72期東京同期会は、還暦を迎えた年を機に、毎年5月の第3土曜日に同窓会のメッカとも言われるアルカディア市ヶ谷を中心に例会を開催するようになったことから、「さつき会」と称しております。

今年、札幌、函館等遠方からの参加者も含めて総勢45名が参集しました。以前は、食事をし、酒を飲みながらの懇談、近況報告など、ごく普通の例会でしたが、一昨年から、がらりと趣向を変え、幹事一同によるイベントを開催しています。

一昨年は伊豆で合宿練習までした演劇、昨年は屋形船上での大喜利、そして今年是一部幹事の発案により、無謀にも男性二部合唱に取り組むことになりました。

幹事長の1組渡部君の新宿御苑にある事務所近くのスタジオを借りて、1月末より、ほぼ毎週計15回に渡る練習を重ね、5月21日の本番に漕ぎ着けました。3組笹川君による曲目選定、

楽譜作成からスタートしましたが、最初の頃は音程が上手く合わず、三部合唱、四部合唱になつてしまつたなど、先行きがどうなるのかと一同不安を抱いていたものでした。ある時期から、音楽の専門家である3

組塚本君に歌唱指導をお願いし、それから急速に合唱の体を成してきました。それによって、各メンバーにも徐々に自信が芽生えてきたように思います。

このような経過を辿って迎えた当日、我々合唱団の面々10名は、黒の蝶ネクタイ、白ワイシャツという正装で本番に臨みましたが、聴衆である同期会参加者一同の予想を見事に裏切り、随所から「感動した」との声が聞かれた程、それまでの練習を上回る成果を披露することができたのでした(無論、我田引水のきらいはありますが……)。

曲目は、「この街で」「高校三年生」「花は咲く」「故郷」の4曲であり、最後に「うれしいな」を参加者全員で歌い、好評の内に終演となりました。我々同期生は、多くの人達が今年65歳を迎えますが、新しいことに挑戦することの意義を改めて知り、更に挑戦すればまだまだ達成できるという自信を得たことが、今回の大きな収穫であったと感じているのは、私だけではないでしょう。

その後行なつた輪投げ大会も予想以上の盛況であり、パプでの二次会も含めて同期会の夜は、あつという間に過ぎてしまったのでした。さて、来年はどのようなイベントを行なうことになるのやら……

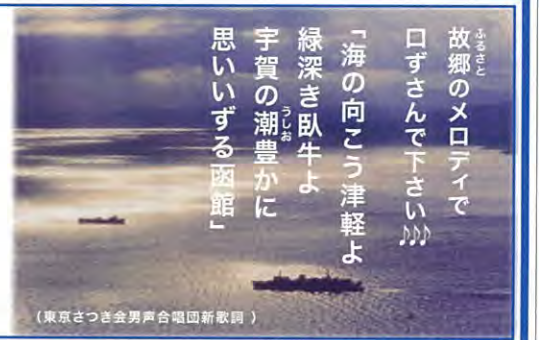


年に一度のふるさと行き修学旅行・・・

72期(S45年卒)東京同期会「東京さつき会」は  
毎年5月第3土曜日に開催!

来年の例会は・・・2017年5月20日(土)17時より

(広告協賛)新宿御苑前 渡部総合法律事務所  
電話03-3355-5415(代) / 72期東京幹事



故郷のメロディで  
口ずさんで下さい♪  
「海の向こう津軽よ  
緑深き臥牛よ、  
宇賀の潮豊かに  
思ひいずる函館」

(東京さつき会男声合唱団新歌曲)





函館から 世界の中心へ向かう 達人たち

新企画！ 各方面でユニークな活動をされている卒業生をご紹介します。  
ご紹介・ご推薦・立候補、随時募集中！

タイトル文字：73期 山田 朗

「がん研究に携わって」

私が医師になった一九七〇年代には、五〇歳代後半で「進行したがん」と診断され入院し、短期間で亡くなる方が多かった。臨床現場で何も助けにならなかった自分は、がんを治す方向に努力しなければならぬと心に決めてその後の人生を歩むことにした。その後、がんの新しい治療を目標に四〇年以上の年月がたつているが、いまだに納得できる治療法にたどり着いていない。世界保健機関(WHO)が二〇一六年五月に発表した「世界保健統計」で、二〇一五年の男女合わせた日本人の平均寿命は八三・七歳で世界一であった。私が函館中部高校を卒業した一九六六年頃は、六八歳前後であるので、この五〇年間で二五年も平均寿命が延びたことになる。特に六〇歳以

後の期間が、平均で二三年以上あることになり、全人生の三〇%近くを生きることになる。

一方、日本人の死因第一位は、がんであり、その比率は三〇%を超える。すなわち毎年の死亡数一三〇万人中約四〇万人が「がん」で、六〇歳代では全死亡数の実に五〇%近くが「がん」で死亡する。いまだにきわめて深刻な数字である。因みに、一六施設三五・二八七症例について一〇年相対生存率を部位別に算出した結果によると、全部位全臨床病期の一〇年相対生存率は五八・二%(同じデータベースの五年相対生存率は六三・一%)と報告された(国立がん研究センター)。この四〇年間に医学医療は明らかに進歩して寿命は延び、がんは慢性疾患とみなすこともできる時代を迎えた。しかし、がんの種類によっては、一〇年生存率が三〇%にも満たないものもある。

特に、食道がん、胆のう胆道がん、肝がん、膵がんなどは、いまだに厳しい状況が続いている。

最近、がんに対して免疫の仕組みをうまく使用する「免疫チェックポイント阻害剤」という新たな治療薬も使用されるようになるなど、画期的な展開もあり、さらなる基盤研究も期待できる。微力ではあるが、がん征圧の日まで初心を継続していきたいと考えている。同窓の皆様も、がんにならないよう工夫していただき、早期発見をお願いして、稿を終える。(二〇一六・六・五)



今井 浩三 第68期

プロフィール いまい・こうぞう

1948年函館市生まれ。1966年函館中部高校卒業。1972年札幌医科大学医学部卒業。1985年英国ケンブリッジ大、セザール・ミルシュタイン教授(1984年ノーベル賞受賞者)に師事。癌免疫分野、癌分子病態分野について研究し特筆すべき業績を上げてきた。2004年札幌医科大学第9代学長。2010年から東京大学医科学研究所付属病院病院長を歴任。2013年の叙勲で紫綬褒章を受章した。





# 長谷川 智之

第101期

プロフィール はせがわ・ともゆき

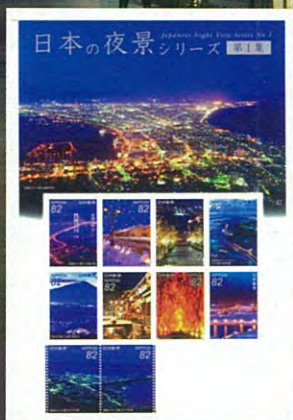
北海道函館市生まれ。

函館中部高校第101期卒業

東京藝術大学音楽学部卒業。これまでにトランペットを杉本峯夫、松田次史、関山幸弘の各氏に師事。第22回日本管打楽器コンクール第2位、第75回日本音楽コンクール第1位および岩谷賞（聴衆賞）受賞。NHK-FM 名曲リサイタルに出演。ソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団とハイドン作曲トランペット協奏曲、トマジ作曲トランペット協奏曲を共演。

東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者を経て、2016年2月よりNHK交響楽団契約団員。洗足学園音楽大学客員教授。

こんにちは。101期の長谷川智之です。小学生の頃からトランペットを吹いておりまして、2007年より東京フィルハーモニー交響楽団に在籍しておりました。そして今年の2月より、NHK交響楽団に移籍しました。N響はテレビでも良く放送される、日本を代表するオーケストラですので、皆様のお目にかかる機会も増えると思います。また、1年間の試用期間の立場でありますので、正式なメンバーになれるよう頑張ります。関東近郊の方々には是非、演奏会に足をお運び頂けると嬉しいです。また関東以外の方々も、地方公演またはテレビ放送をお楽しみ下さい。よろしくご依頼致します！



切手 日本の夜景シリーズ第1集に採用  
「はこだて冬フェスティバル」

# 丹羽 修

第72期

プロフィール にわ・おさむ

- 1951 北海道に生まれる
- 1970 函館中部高等学校卒業
- 1975 千葉大学工学部写真工学科卒業  
林宏樹氏(スタジオ ヒロキ)に師事アシスタント、スタッフ・フォトグラファーを経て  
1991年独立  
渋谷にて C. B. Factory 主催  
2005 有限会社C. B. ファクトリー 設立  
2013 法人解消 北海道に移転

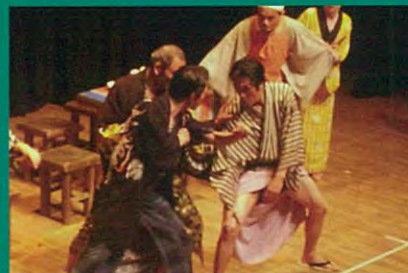
Home Page アドレス

<http://bears28.backdrop.jp/index.html>



東京で広告用の写真を撮影して来ましたが、以前から考えていたように、拠点を渋谷から故郷に移して、北海道を撮影して行くことにしました。取りあえずは函館を初め、主に道南地区の撮影をしています。





2008年から殺陣を始めます。水戸黄門など出てくる、あのチャンバラです。私の所属している殺陣クラブは、20年近く続いている素人演劇集団です。もともとは、作家の遠藤周作さんが立ち上げた劇団樹座の中で殺陣好きの方々が集まり、樹座の解散後に作られたものと聞いています。会社の上司に誘われて、軽い気持ちで入ったのですが、現在まで続けられて来たのは殺陣自体の面白さ、それに関わる歴史、演劇という特殊な空間の魅力、そして、それに関わる人とのつながりがあると思います。2年に1度、新日本橋駅近くにある日本橋劇場で2日間の公演を行います。いつもは普通のサラリーマン、けど、こ



## 朝緑 高太

第99期

プロフィール あさみどり・こうた

現在37歳。東京在住。

函中卒業後、北海道大学水産学部でカモメの研究に没頭。卒業後は、鉄鋼関連会社で、魚礁の営業や設計に関わる。

殺陣とは、この時出会う。

函中では、バレーボール部と演劇部に所属。

結局、演劇の世界との縁が強い。

同窓会には、手話のサークル活動中に先輩と偶然出会ったことがきっかけとなり関わり始める。

現在は、東京理科大のベンチャー企業に所属してロボット関連の製品の営業開発を担当。

のときはやはり、懸命に役を演じきります。武士やヤクザ、町人と、一人が二役三役とこなすこともあり、雰囲気や化粧を変えてそれぞれの役をこなします。殺陣の立ち回りは、派手に力技で剣をチャリオンとぶつけ合えば良いわけではなく、しっかりと計算された動きを互いのタイミングを合わせて見せるので、ダンスに近いものです。普段の身のこなしなどは、特に気にせず過ごしていたのですが、舞台でかつこ良く見せるための動きを覚えてもらいました。

意外と自分が思い描くかつこ良い動き通りに身体は動いていないもので、先輩方々に指摘を受けてより良い身のこなしや間の取り方を身に付けてきています。

今回の公演は、2017年7月、第10回記念公演となり殺陣クラブとしても集大成の公演です。同窓生の皆様にも是非ご覧いただきたく、会場でお会いできるのを楽しみにしております。



練習後はやっぱりビール!

殺陣クラブ第10回記念公演

2017年7月29日(土)夜、7月30日(日)午後

会場：日本橋劇場(〒103-8360 東京都中央区日本橋蛸殻町1-31-1日本橋区民センター内)



# 随想

## 『私とゴルフ』

第61期 金子公彦

### ゴルフを始めたきっかけ

私は、昭和38年(1963年)大学卒業と同時に、某電機メーカーに入社しました。

最初は、研究所に配属されましたが、3年目に技術本部の自動制御装置の設計部門へ異動になり、分野を問わず全社の各種自動制御装置の設計業務を行って居ました。

ある時、部長から呼ばれ、君は車の運転は出来るかという質問がありました。いきなりの質問にビックリしましたが、私は16歳で小型自動四輪車の、18歳で普通自動車の運転免許を取得して居ましたし、入社時には、学生時代までに貯めたお金で、トヨタ自動車のコ罗纳1000の中古車に乗って居ましたので、運転は出来ると答えました。そうすると、次にゴルフは出来るかとの質問。仕事に関係ない質問にビックリしましたがゴルフクラブは持って居ますが、一度もコースへ出たことはありませんと正直に答えた次第。

自分は将来ゴルフを絶対にやりたいと思つて居ましたので、当時21才



ークに駐在して居りました私の長兄に依頼し、私の体形に合ったゴルフクラブをフルセット購入してありました。当時は、輸入クラブは極めて高価でしたが、米国から送って貰うと極めて安価で求めることが出来たからです。クラブは、マグレガーのターニーホワイトのフルセットです。

部長は「ゴツ」と笑つて、今度の日曜日は空いているかと矢継ぎ早の質問。部長の家には車はあるが、自分は運転しないし、他の2名も運転出来ないの、運転手が必要だ。

また、現在予定している我々3名も初めてゴルフをするので丁度良い。4名全員が初めてのゴルフで、所謂筆卸が実現しました。以降、社内のコンペや、似たような初心者でのゴルフを楽しむようになりまして。

経済的なこともあり、ゴルフ場は殆ど河川敷のコースでしたが、楽しくプレイすることが出来ました。但し、河川敷のゴルフ場の予約取りは大変でした。予約申し込み日の朝は8時になると、全員で電話の掛けまくり状態でした。

私は、中部高校時代軟式テニスをして居ました。全道大会で優勝したり、秋田で開催の高体連や静岡国体へも出場して居ました。また、上京後は、硬式テニスに変更し、三鷹市民大会のシ

ングルスで優勝経験もありました。ゴルフは4、止まっているボールを打つのもう少し早く上達するかと思つていましたが、ゴルフの方がなかなか思うようにはなりませんでした。

会社勤務時代は、自動制御装置の設計部門から営業技術部門に異動となり、自動車用のエンジン、クラッチ、トランスミッション、デフレンシャルギア他や、車両全体の評価をするシャシ

ーダイナモメータや、気象変化による評価をするマイナス60℃プラス60℃等の温度制御や降雨、降雪や風の影響を変えて試験する、全天候試験設備、騒音試験用無響室、電波による誤動作試験用電波シールド室、排気ガス規制対応の各種試験をするためのシャシダイナモメータ上での無人ドライバロボットなど、研究開発用の今まで無かったような各種1品もの試験設備も含め供給をし、自動車関連産業の発展の一助になつたものと思

ます。当時、ビールのマーケティングシェアは、キリンが約60%と言われて居ましたが、我々のこの分野でのシェアは、約80%ありました。しかし、事業拡大するには、やはり自動車産業のメッカ、米国のデトロイトへ進出しなければ

特、GM、FORDを攻略しなければという事で、米国進出を計画してい

ました。私が初代の駐在所長で赴任することにになりました。

女性秘書1名と私との2名で駐在事務所としてスタートすることになりました。勿論、現在は、米国の現地法人として頑張っています。

米国のモーターシティーデトロイトは、GM、FORDの関係者もゴルフはしますが、日本からの自動車関連のお客様が結構多く訪米され、仕事の他に、ゴルフ、買い物、観光案内に取られる時間が結構な比率になりました。USオープン開催のゴルフ場、著名なゴルフ場など多くのゴルフ場があり、また、プレフィーも日本より遥かに経済的です。但し、デトロイトは、半年は雪でプレイは出来ません。よつて、春が来ると余計ゴルフが健康管理とお客様対応の有効な手段となりました。

ゴルフで一度はやつてみたいのは、ホールインワン、歳を取るとエイジシュートが狙いというか、願望となります。

私は、ゴルフを始めて47年目の2015年3月29日に初めてホールインワンを達成することが出来ました。後は、自分の年齢または、それ以下のスコアでプレイする「エイジシュート」達成ですが、それは、夢のまた夢です。

### 私のホールインワン

2015年3月20日(金)、埼玉県飯能市にある「久邇カントリー倶楽部」の西コース、7番ホール164ヤード打ち下ろし、パー3のショートホールで達成しました。函中61期の同期会懇親ゴルフコンペに於いてです。同伴者は、藤田美穂子さん、坂崎紀美子さん、大久保泰弘氏です。打ち下ろして、軽いア

ゲインストの風が吹いて居ましたが、4番ウッドで軽めに打つての結果でした。勿論、初めての経験でした。なお、エイジシュートには無理と思つて居ます。



### ホールインワンの概要

主にパー3(規定打数は3回)のホール(ショートホール)で達成されることが多い。パー4の(ミドルホール)でのホールインワンはアルバトロス、パー5のロングホールでのホールインワンはコンドルとなる。

### ホールインワンの著名な記録

(1) 過去に最も多くホールインワンを達成した人：カリフォルニア州出身のノーマンマンリーは59回という記録をもつている。

(2) 最も長いコースでのホールインワン記録：コロラド州のゴルフ場で、マイケル・J・クリンが2002年7月4日達成した47ヤード(パー4)で。

(3) 最年少のホールインワン記録：マット・ドレイパーの5歳212日(1997年6月12日に達成、22ヤード、パー3)

(4) 最高齢のホールインワン記録：エルシー・マクレーン102歳(2007年4月5日に達成、100ヤード、パー3)



(5) 全盲者による最初のホールインワン：ペンシルバニア州のゴルフ場でシーラ・ドラムンド(53歳)が2007年8月19日 144ヤード、パー3

(6) 日本初のホールインワン：1906年6月3日、神戸・六甲山ゴルフコースにて、ドルフィンガーが記録した。

ホールインワン祝儀

1990年代頃まで日本に於いては、ホールインワンのご祝儀として、キャディーなどへのチップやコースへの記念品、コンペ等なら参加した全員に対する記念品の贈呈や祝宴などを行うことが定着していた。ケースバイケースで額は異なるが、一説には数十万円〜百万円近くかかるともいわれた。個人プレイであれば同伴者への記念品贈呈や宴会で済ませることもあるが、コンペ等の場合は、個人間の関係で済ますことは、ほぼ出来ないため、これを避けることは難しかった。2000年代頃からは、このような大々的な祝宴は見られなくなり、贈答品程度に留まっている。

逆に、プロ選手が大会中にホールインワンを記録した場合は、大会スポンサーからホールインワン賞の賞金や賞品が授与されることもあるが、選手が関係者を招いて祝宴を行うことは皆無である。

一般的な個人にとつて、この金額は当然ながら看過出来るものではないため、損害保険会社からは「ゴルフ保険」という商品が1982年に発売された。この保険には、比較的発生率の高いプレー中の事故(打球が人に命中してしまつことや、蜂に刺される

ことなど)への保障の他、ホールインワンによる出費が生じた場合にも保険金が支払われる。このことから、ゴルフアー保険は、俗にホールインワン保険という通り名で呼ばれている。

ゴルフ評論家の風間十郎氏の言によると、我が国に於いて戦前では、ホールインワンしたゴルフ場名や日時を染め抜いた手ぬぐいを親しい友人に配る程度で、大々的なパーティーを開くようになったのは、中村寅吉活躍の1950年代の第一次ゴルフブームの頃からという。ちなみに、1888年スコットランドに於いて、ホールインワンしたプレイヤーが、キャディーに3シリングを手ツップとして渡したというが、現在は周りの人が祝ってくれる事はあつても、自分の費用で大々的にパーティーをするとはなく、植樹や祝賀会でするのは、日本だけであろうという。また、プロのトーナメントにホールインワン賞があるも、日本のみである。

樋口隆士先生からの「白楊魂 扁額発見」 函中歴史ウラ話

校庭の東はしに木造の運動部の部室が1列に並んでいたのを覚えてますか。

その裏の民家から通報があり、部室の一部から白煙が出ているのを確認、一一九番通報、消防の放水一撃で消火しました。(昼過ぎのことで、消火が遅れていたら全部室が燃え、裏の民家にも延焼したことでしょう。隣接して

灯油タンクがありました。)

サッカー部の失火でした。部室の二重になった壁板をはがしてみると、バケツ一杯分もの吸殻が出てきました。吸殻を長年節穴から投げ入れていたのですね。

新聞で書き立てられ、行政当局からは視察、報告書の提出など後始末が大変でした。道立高で火災が続出していたときでタイミングが悪かった。サッカー部は謹慎となり部は活動停止になりました。

お陰で木造校舎の無数の節穴はブリキ板でふさがれ、用務員さんは大変でした。

巡視の強化もそのためでした。

例の倉庫は鍵がかけられ普段は使われていなかったのですが、念のためその日は入ってみました。

校宝第一号とも言つべき「白楊魂」の扁額が見つかったのはそのときです。ほこりが三センチくらい積もっていました。

記念誌などの写真では、戦前から校舎の目立つところ(雨天体操場、後の旧体)正面の壁に掲額されていたことがわかります。

日露戦争従軍の一戸兵衛將軍の筆のため、戦後の平和主義の行き過ぎから、片付けられ忘れ去られていたのだでしょう。

しかし、ボヤ騒ぎがなければ、白楊魂の扁額発見はさらに遅れていたことでしょう。

(樋口先生からのお便りから抜粋 68期木戸正文 (注一)樋口隆士：本校には英語教師

として二度の勤務の後(後半は教頭として)、札幌北高校長、北海道高校校長協会会長など歴任。札幌在住。時期が異なるが親子二代にわたり本校勤務(十七代校長 樋口光暎氏はお父上)

(注二)二戸兵衛：一八五五年〜一九三一年 青森県出身、日露戦争当時の軍人。陸軍大将、陸軍教育總監、学習院一三代院長(十代院長 乃木希典)など歴任。

追悼 宇江佐真理さん 第68期 木戸正文

宇江佐真理さん(旧姓 遠藤香 第70期)が平成二十七年十一月七日亡くなった。女性時代小説作家として、函館高盛町に在住しながら江戸人情もの、捕り物帳ものなど二六三編もの小説を残した。直木賞候補にも六度ノミネートされた。エッセイ集「見上げた空の色」から同窓会出席について綴った一編があるので紹介し、ご冥福をお祈りしたいと思います。



(出典 ウエザ・リポート「見上げた空の色」P六三〜P六五 著者 宇江佐真理 発行所 懶文芸春秋)





### 「ふ・ぶ・ぶ」の同窓会

私は道立函館中部高校(原文ママ)の卒業生であるが、卒業以来、同窓会なる物には出席したことがなかった(同期会ならある)。母恋が懐かしくない訳ではないし、当時机を並べていた仲間に出会いたくない訳でもなかった。授業について行けなかった悔恨が長い間、私を苦しめていたからだ。あの当時を思い出すと、今でも下腹のあたりが重苦しくなる。他の卒業生はそんな思いをしたことがないのだろうか。

二十代の頃、地元で同期会が開かれた時、他のクラスの男子に「あんた、勉強できなかったでしょ」と、冗談交じりに言われたこともある。

在学中のヒーローは常に上位の成績を取っている者だった。それがなんぼのもんじゃない、と今なら言えるが、当時はとてもそう思えなかった。私は授業やテストの重圧から逃れるように小説を書き始めたのかもしれない。人間、何が辛いかわからないものだ。

曲がりなりにも、もの書きとなった私を今では笑わないだろうが、相変わらずトラウマのようなものは抱え続けていた。

伝統のある高校だから、同窓会は地元だけでなく、札幌や東京でも毎年開かれているようだ。同窓生は卒業した母校に並々ならぬ誇りを持っている。皮肉ではなく、そういう気持ちで羨ましい。

先日、札幌支部の同期の仲間から、講演してくれないかと連絡があった。

講演はあまりしたくない。まして同窓生を前に喋るなんておこがましいと思つた。しかし、最近同窓会の出席率が芳しくないの、こはひとつ、盛り上げてほしいと熱心に勧められた。

卒業以来、母校のために何ひとつ恩返しをしていないので、一度ぐらい、そういうことをしてもいいかという気持ちになり、札幌へ向かった。

会場となったホテルには八十名ほどの同窓生が集まった。しかし、同期の数名以外、顔も知らない人ばかりだった。私は来賓扱いで、八十名を前に四十五分ほどの話をした。その四十五分がやけに長くて、私は往生した。普段は一時間半ほど喋るのに、やはり、トラウマの影響があったのだろうか。質問を受けてお茶を濁し、なんとか講演を終えた。すぐに、同期の仲間のいるテールに移つて、色々思い出話に興じる。

卒業以来、四十年も経っているの、仲間も私も立派なオジンとオバンである。持病のひとつやふたつはあるし、孫のいる者も珍しくない。かつては夢にも思わなかったことだ。

定年を過ぎても仕事をしているものが多い、そういう時代なのかと思う。会の終わりに校歌をうたつた。それも久しぶりのことだ。歌詞が四番まであつて、二番はほとんど失念していた。

そう言えば、校歌作曲した音楽の教師に在学中、授業を受けたことも思い出す。ホラタケという渾名の教師だった。ホラタケは亡くなったが校歌は残る。私はホラタケのために一生懸命うたつた。

同窓会の後の二次会はすすき野の、

やはり同窓生がやっているスナックへ行く。皆、カラオケが上手だった。会社の宴会では、そうやって座を盛り上げていたのだな、と何だか切ない気持ちになった。

酔いがほどよく回り始めると、同期のひとりが「ほ・ほほの北海道」をうたつてくれた。

それは吉幾三さんの持ち唄で、うたうというより語りが多い。マイクロパスで東京から来た観光客を旅行者が「おもしろおかしく案内する様子」を唄にしたものだ。初めて聞いた。テンポがいいので、初めてにも拘らず、私も途中で「ほ・ほほの北海道」と合いの手を入れていた。

夜の十二時頃に散会となり、わたしはホテルに戻つた。とても楽しかった。私のトラウマも少し解消された気がする。気がつけば、「ほ・ほほの北海道」と口ずさんでいた。という訳で、今回の本稿のタイトルも「ほ・ほほの北海道」ならぬ「ど・どど」の同窓会となった。

#### たすきをつなぐ者

第71期 加納 元雄

昨年の当誌の同期会報告欄でもお伝えしたが、私たち71期では、東京地区での幹事が中心となつて、函館で同期会を開こうと、準備を進めている。

何時もは首都圏在住者を中心に130名ほどに案内を出しているのだが、今回は全国に散らばる300名余りに呼びか

けたところ、現時点で50余名から出席の連絡をもらった。会の案内は、同期生だけでなく、3年生の時に担任をされていた先生にもお送りした。

その中に、3組の担任だった守下光越先生もおられる。守下先生は、第54期(S27卒)の同窓生で、昨年発行の同窓会名簿によれば、昭和38年から平成6年までの31年間の長きに亘つて母校で教鞭を執られたそうなので、先生の聲に接した読者もたくさんおられることと思ひ、出欠ハガキの通信欄に書かれた文章を抜粋して皆さんにご紹介したい。

82歳になりました。この年齢になりますと、眼はかすみ、耳は会話が聞き取れず、腰痛で同じ姿勢が保てず、会合には向かない状態です。71期は中部高校に赴任して初めての担任で、8回卒業生を送り出した中でも強く印象に残っています。二階建校舎で卒業し、三階建校舎に赴任し、現在の四階建校舎で退職しました。偉くは成れませんでした。よかったなと思つています。

私たちの学年は約500人の生徒がいて、クラスも10クラスあった。従つて担任の先生も10人いたわけだが、そのうち実に7人が同窓の先輩であった。担任をされた先生に限らず、教科書とは何の関係もない講義を延々とされる先生や、即興で黒板に問題を書いてそれを解くのに没頭し、眼の前の生徒のことなど念頭から消えているとしか思えない先生等、先輩の諸先生は皆さ

### 第76期東京地区同期会

(昭和49年卒業)

「あす76会」ゴルフコンペ(1月、4月、7月、10月)  
同期の皆さまのご参加をお待ちしています。

### 七草会

第79期 1977年卒業

HPにて情報発信中  
<http://chubu79.digi2.jp/>



四季を彩る至福の空間へ...

株式会社 計画機構 一級建築士事務所  
■ 建築設計・コンサルティング

alpha Conservatories Ltd.  
■ ガーデンコンサルティング ■ 英国コンサバトリー設計・施工

株式会社 アルファコンサバトリーズ  
創業1874年 AMDEGAコンサバトリー輸入総代理店、  
B.D.G.コンサバトリー輸入代理店、建築設計・ガーデン設計

代表取締役 山田 朗 (73期)

180-0022 東京都武蔵野市境1-22-9 ツインプレックスSA  
TEL.(0422)55-7940(代表) FAX.(0422)55-7960  
<http://alpha-it.co.jp/> E-mail:info@alpha-it.co.jp

KOA SAW・WING





んそれぞれに個性的だった。名門進学校に入学してしまつて、ひたすら受験勉強をしなければならぬと覚悟していた私には、そのような先生の存在が驚きであった。「こんな授業じゃ受験勉強に差し支える!!」と、息巻く同級生の中にはいたが、私にとっては、学問とは何か、ものを考えるというのとはどういふことを、初めて教わつたのが、函中であった。

「白楊魂」の意味を教わつた記憶がないし、少なくとも私にはそれを人に説明することができない。それでも函中には、明らかに独特な空気が、色濃く存在していたことは、間違いなく言える。それはおそらく、守下先生のような同窓の先生が、守り、育て、伝えてきたものであろう。

同窓生が多数、教師として赴任することについて、教育界で批判があるのは百も承知しているが、そのような中で過ごさせてもらった身には、真に有難い、得難い3年間であつたと、50年経つても感謝の念は消えないのである。

### 修学旅行乗り遅れ事件

第78期 垣坂 清

以下の文は、東京白楊だより第一八号（一九九五年）に投稿したものを一部修正・加筆したものです。

みなさん、修学旅行で列車に乗り遅れた経験はありませんか。私はあります。

当時（一九七四年）、函中の修学旅行は、日本海側ルートで京都・奈良へ行き、それから新幹線で東京に立ち寄り、太平洋側ルートで帰ってくる行程でした。

私たちはまず青函連絡船で青森に渡り、一六時二五分発の寝台特急「日本海」に乗ることになっていました。青森駅で荷物を列車に積み込んだ後、私はしっかりと発車時間を確かめて、缶入飲料を買おうとホームに降りました。

ホームでは、ラグビー部のN君が先に自動販売機に取り付き、百円玉を投入してはボタンを押して一本九〇円のファンタを何本も買ってしまいました。いふりこいて、「俺が買ってきてやるよ」などと女子生徒徒から百円玉を集めたのだらうと思いました。ところが途中から何度百円玉を入れても缶が出てこなくなりました。二人であれこれやっているうちに釣銭切れであることがわかりました。陽が傾いて差し込んでいたので、釣銭切れランプがよく見えなかつたのです。あきらめて戻ろうと振り返ると、なぜか「日本海」が動き始めて

いるのです。「えっ、なして……?」胸に大量のファンタを抱えたN君、そばで立ちつくす私、加速する列車の窓の向こうに見えた田中先生やクラスメイトの唾然として私たちを見つめていた顔は、今でも目に焼き付いています。



荷物も財布も列車の中です。

「もう、函館に帰るべ」という弱気のN君を説き伏せ、助役さんに事情を話し、名刺の裏書の特別通行証をもらつて約四時間遅れの急行十和田で追いつけ始めました。堅い座席で夜通しファンタを飲み、翌朝上野駅に着き、東京駅から新幹線乗り継いで、お昼頃に京都に着きました。仲間は嵐山に行っていました。どこから連絡があつたのか先生が駅で待っていました。「よく追いついた」と褒めてもらえることもなく、二日間、自由時間の外出禁止処分を受け、旅館でじつと謹慎して

いました。それから毎年、修学旅行の説明会で「こんなふうになり遅れた実例があるので、ホームでは決して買物をしてはいけない」と厳しく注意されていたこととです。その後、一度は乗つてみたかつた「日本海」は、二〇一三年一月で臨時列車を含めて運行されなくなりました。残念。

第68期 白崎淳一郎氏の著作が上梓されました。東京安全衛生教育センターで「産業用ロボット特別教育インストラクター講座」の講師を務める筆者が、受講生から受けた代表的な質問100問のQ&Aをまとめたものです。

書名:「産業用ロボットQ&A100問」  
著者:白崎淳一郎(第68期)  
発行者:(株)労働新聞社  
価格税込:1,512円

### 出版物のご紹介



### 函館の写真募集中!

お問合せは事務局まで

kanchu-tokyo@r6.dion.ne.jp

随想 募集します  
伝えたいことなど

1000字程度でお送りください

募集します  
自薦他薦問わず

広告募集

1マス¥5000円、4マス¥20000円





**物故者** 謹んでご冥福をお祈りいたします ※年会費払込票及び大会出欠葉書等にて、ご家族からお知らせがあった方です。

- ◆ 釣谷 光博 (昭10年卒37期)  
平成27年6月9日逝去
- ◆ 中島 二郎 (昭16年卒43期)  
平成20年9月6日逝去
- ◆ 大島 浩 (昭17年卒44期)  
平成27年10月21日逝去
- ◆ 石田 準之助 (昭18年卒45期)  
平成26年8月逝去
- ◆ 小笠原 敏雄 (昭18年卒45期)  
平成27年9月19日
- ◆ 小倉 晴夫 (昭18年卒45期)  
平成27年9月24日逝去
- ◆ 阿曾 慶三 (昭19年卒46期)  
平成27年9月24日逝去
- ◆ 佐藤 彰一 (昭19年卒46期)  
平成27年4月4日
- ◆ 中野 富郎 (昭19年卒46期)  
平成27年4月4日
- ◆ 柳町 省三 (昭19年卒46期)  
平成27年8月逝去
- ◆ 佐々木 芳朗 (昭21年卒49・50期)  
平成27年3月逝去
- ◆ 高橋 昭 (昭21年卒49・50期)  
平成27年3月逝去
- ◆ 古川 洋太郎 (昭23年卒51期)  
平成28年1月13日逝去
- ◆ 大竹 康夫 (昭25年卒52期)  
平成28年3月4日逝去
- ◆ 森 茂 (昭26年卒53期)  
平成25年12月22日逝去
- ◆ 駒井 悟郎 (昭27卒54期)  
平成26年2月6日逝去
- ◆ 鈴木 良子 (昭27卒54期)  
平成24年6月17日逝去
- ◆ 松村 肇 (昭27年卒54期)  
平成27年5月10日逝去
- ◆ 池崎 俊二郎 (昭28年卒55期)  
平成26年9月逝去
- ◆ 大宮 瑛子 (辻田) (昭28年卒55期)  
平成27年2月11日逝去
- ◆ 安達 守 (昭29年卒56期)  
平成27年9月25日逝去
- ◆ 柏 正 (昭29年卒56期)  
平成28年2月12日逝去
- ◆ 佐藤 孝子 (石塚) (昭29年卒56期)  
平成27年10月19日逝去
- ◆ 澤田 経子 (堀川) (昭29年卒56期)  
平成28年4月22日逝去
- ◆ 藤本 一郎 (昭29年卒56期)  
平成27年2月3日逝去
- ◆ 小川 不二天 (昭31年卒58期)  
平成27年11月逝去
- ◆ 角本 陽一郎 (昭31年卒58期)  
平成27年11月逝去
- ◆ 佐藤 健 (昭31年卒58期)  
平成28年6月3日逝去
- ◆ 布施 幸子 (速水) (昭31年卒58期)  
平成28年6月3日逝去
- ◆ 飯田 美津子 (木曾) (昭32年卒59期)  
平成27年5月20日逝去
- ◆ 志野 幸男 (昭35年卒62期)  
平成28年1月逝去
- ◆ 柳沢 和子 (土肥) (昭35年卒62期)  
平成28年1月逝去
- ◆ 宇苗 清 (昭36年卒63期)  
平成28年2月24日逝去
- ◆ 木島 光彦 (昭36年卒63期)  
平成28年2月24日逝去
- ◆ 正津 洋子 (庭田) (昭36年卒63期)  
平成28年2月24日逝去
- ◆ 関 賢 (落合) (昭36年卒63期)  
平成28年2月24日逝去
- ◆ 谷沢 洋子 (岩村) (昭36年卒63期)  
平成28年2月24日逝去
- ◆ 大谷 貞彦 (昭38年卒65期)  
平成28年4月14日逝去
- ◆ 橋本 劭 (昭38年卒65期)  
平成28年4月14日逝去



## ポプラ会ゴルフコンペご報告

ポプラ会ゴルフコンペは、白楊が丘同窓会の会員でゴルフをされる方はどなたでも参加できるものです。年1回開催の年もありましたが、会員の皆様からのご要望があり、ここ数年は、春～夏と秋～冬の年2回開催しております。2015年秋の第40回および2016年夏の第41回の結果を報告致します。いずれも、個人戦を新ペリア方式で競い合いました。

### 第40回 ポプラ会ゴルフコンペ



2015年11月30日(月)  
浦和ゴルフ倶楽部  
参加者:12名

優勝 72期 佐藤 禎子氏  
2位 60期 水江 彰一氏  
3位 71期 石橋 秀樹氏

晴天に恵まれ、秋のたいへん爽やかな気候のなかでプレーすることができました。

### 第41回 ポプラ会ゴルフコンペ



2016年6月7日(火)  
浦和ゴルフ倶楽部  
参加者:16名

優勝 67期 安田 康次氏  
2位 60期 水江 彰一氏  
3位 61期 金子 公彦氏

梅雨入りし午前中は霧雨でしたが午後は雨もあがり良いコンディションになりました。

次回は、秋～冬の会として、11月中～下旬頃に開催予定です。ゴルフをされる皆さんはまだまだ大勢おられるものと思います。参加ご希望の皆さまは、ぜひ、同窓会事務局までご連絡ください。あわせて一緒にゴルフ幹事をやっていただける方を募集しています！

## 東京臥牛会ゴルフコンペご報告

在京の函館市内の公立高校5校(西高校、東高校、中部高校、函館商業高校、函館工業高校)の同窓会の連絡・情報交換の場として「東京臥牛会」が平成22年に発足しています。従来、他校の同窓会との親睦を図る目的で「函館巴会」として、西高校、東高校、中部高校の3校で幹事を持ち回り、毎年春に団体戦を行ってありましたが、今回からリニューアルしました。競技方法も団体戦はやめて新ペリア方式の個人戦で競い合いました。2015年秋の第1回および2016年春の第2回の結果を報告致します。

### 第1回 臥牛会ゴルフコンペ



日時:2015年9月30日(水)  
ノーザンカントリークラブ 錦ヶ原ゴルフ  
参加者:20名(うち中部参加者10名)

優勝 青木保氏(西校)  
2位 渡部良孝氏(函館工業)  
3位 成田秀信氏(71期)

### 第2回 臥牛会ゴルフコンペ



日時:2016年4月19日(火)  
紫カントリークラブ あやめコース  
参加者:27名(うち中部参加者10名)

優勝 森英爾氏(西校)  
2位 古旗那夫氏(72期)  
3位 郷内繁氏(西校)

この行事を軌道に乗せるため、第1回、第2回は中部高校が幹事を務め、多くのご参加者を得ました。ご協力に感謝します。次回は、来年の春、東高校が幹事校となります。引き続き多数の皆様のご参加を期待いたします。

白川正広(76期)記



## 萩野公介君を是非応援してください!

この会報が皆様のお手元に届くころは、リオデジャネイロでオリンピックが開催されています。既にご存じの方も多いとは思いますが、今回のオリンピックの男子競泳でメダルの期待がかかっている萩野公介君の父親は、我々81期の萩野洋一君です。

公介君は、前回(2012年)のロンドンオリンピックで、400m個人メドレーで銅メダルを獲得しました。リオでは、同種目で金メダルが期待されているほか、他の競技でもメダルの期待が高まっています。また、次の東京オリンピックの時には25歳と、競技者として最高の時期に当たることから、3大会連続でのメダル獲得も十分期待できます。我々81期では、東京オリンピックの際には何とかチケットを確保して、公介君を応援できるようにと、今からいろいろと計画しています。

さて、リオのオリンピックで公介君が出場する予定の競技

は以下の通りです。会報が皆様のお手元に届くころには、金メダルの可能性が高いと言われている、400m個人メドレーの決勝は終わっていますが、まだ決勝が終わっていない種目があるかも知れません。その場合は、テレビを通して温かい声援をお願いします！

### <出場予定競技(競技開始時刻はすべて日本時間)>

男子400m個人メドレー 決勝 8月 7日午前10時頃  
200m自由形 決勝 8月 9日午前10時頃  
800mリレー(200m×4) 決勝 8月 10日午前11時半頃  
200m個人メドレー 決勝 8月 12日午前11時頃

注:この他のリレー競技等にも出場するかもしれません。  
(編集部註釈 原稿は7月時点での予定を載せたものです)

松永 久(81期)記



# 会員短信

平成27年8月以降の会費の払込票と返信はがきのメッセージから



●風間 憲吉 (S10年卒37期)  
脊椎管狭窄症で車椅子生活で過しておられます。東京支部と親睦大会の益々の発展を祈ります。

●今井 清 (S13年卒40期)

懐かしい函中の同窓会ご連絡ありがとうございます。私には千原校長の講義とついでに高島小太郎先生から歴史の講義を受けたことを思い出します。良い先生でした。

●太刀川良三 (S13年卒40期)

同期生で関東地区に残っているのは1人、今井清氏だけになりました。彼はその昔、日本海事協会(NK)の高級技師、小生は北洋漁業の船団長で大変お世話になったものです。彼は今でも大会に出席している様子。どうぞぞ「おもてなし」よろしく。

●松井 亮太郎 (S14年卒41期)

ご案内状ありがとうございます。私は旧中学の昭和14年卒で94の老人であり、住所は息子宅になっていますが、老人ホームに住んでおります。一人で外出はできませんので欠席させていただきます。ご出席の皆様によりしく！

●毛利 啓次 (S14年卒41期)

足腰が弱り外出もままならず欠席致します。若き函中時代がなつかしい此の頃です。

●佐藤 文一 (S14年卒41期)

足腰ともに不自由なので欠席します。

●渡辺 勉一 (S17年卒44期)

来月は函館に行き、120周年のお祝いに出席します。5泊6日の予定ですが、函館には3日ほどいます。

●伊藤 貞男 (S18年卒45期)

一応年令(卒寿)なりには元気に暮らしているのですが、遠出は心配をやめてお祈り致します。ご了承ください。ご盛会をお祈り致します。

●菅原 良吉 (S18年卒45期)

幹事さんのご尽力に感謝申し上げます。美しい出来上りの東京白楊だよりを懐かしく拝見しています。体調が不十分なので欠席させていただきますが、盛会を祈っております。

●宝田 穎一郎 (S18年卒45期)

最近になって大先輩の長谷川四郎、久生十蘭の短編に接し、彼らの遺作をなつかしく読みました。

会員短信に高島小太郎先生の下宿先(巴館)隣の岡本大三郎さん：久しぶりで本町一帯を思い出しました。

●田沼 修二 (S18年卒45期)

高齢となり外出自重。3月に入院、目下自宅療養中。ご盛会を祈ります。

●大橋 淳 (S18年卒45期)

残念ながら今回も欠席とさせていただきます。御盛会を祈ります。

●中野 忠孝 (S18年卒45期)

一度も出席せぬまま間もなく90才。回りに殆ど誰も居なくなりましたが、元気に冬はスキーを楽しみ毎日ピアノを

弾いて残りの日を大事に生きています。

●大島 隆 (S19年卒46期)

伊豆は台風が過ぎて通るので大被害はありません。お遊びにおいで下さい。90才になり体調よろしくないで残念ながら欠席させていただきます。兄大島浩死去、皆さまお元気で。早々

●多和田 昭二 (S19年卒46期)

今年2月米寿を迎え、今の所元気で居りますが、耳が遠くなり会話やテレビに不便を感じて居ります。皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

●渡辺 保二 (S19年卒46期)

90才を越えましたがなんとか元気に過ごしています。

●堀田 善和 (S20年卒47期)

出席しようかしまいか迷っていました。が、年令のせいか電車で出かけるのが大変になりました。せつかくご案内頂きながら申し訳ありません。ご盛会を祈っております。

●山科 喜一 (S20年卒48期)

先日亡父の27回忌で久しぶりに函館へ行ってきました。湯の川温泉から柏野練兵場を通って時任町まで通った事、高島小太郎先生の歴史を一生懸命暗記したことなど思い出しました。親睦大会は欠席しますが御盛会をお祈りします。

●伊藤 辰男・幸子 (S20年卒48期)

2人とも何とか元気でおりますが遠出はちよつと心配ですので欠席致します。御盛会を祈っております。

●下河原 修 (S21年卒49期)

御案内有難うございます。御盛会を願っております。

●漆崎 雄一 (S22年卒50期)

残念ですが当日地方業務で出張中です。皆様によりしくお伝えください。

●長島 康 (S25年卒52期)

いつもお世話様です。

●阿部(千田)彰子 (S26年卒53期)

白楊だよりありがとうございます。

●伊関 ユキ子 (S26年卒53期)

「東京白楊だより」いつも楽しくなつかしく拝見させて頂いております。膝の調子が悪く残念ながら欠席させていただきますが、皆さまのご健勝とご盛会を御祈り申し上げます。

●小島 一弘 (S26年卒53期)

会報や親睦大会のご案内等お骨折りが有難うございます。当日支障あり欠席させていただきます。

●佐藤 貞夫 (S26年卒53期)

医薬のお世話でなんとか頑張っていますが、11月は諸行事が多く当日も残念ながら出席できません。皆様によりしくお伝え下さい。

●吉本 忠郎 (S26年卒53期)

なんとか馬齢を重ねております。出席出来ず申し訳ありません。

●若林 省吾 (S26年卒53期)

足の調子が悪く欠席します。いつも御案内ありがとうございます。

●遠藤(長島)宏 (S27年卒54期)

「東京白楊だより」を事務局より発送いただきました有難うございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

●松田 守正 (S27年卒54期)

10月3日(土)函館西高の同期会が(第2期生)銀座の桃杏楼で行われ、恩師1人含む20数名が集まり、楽しい時間が共有できました。函中時代の同期もいて、当会の話題も出て一層盛り上がりました。

●佐藤 堅一 (S27年卒54期)

創立120周年、不滅の力強さを感じます。同窓会の盛会を祈念しております。老兵も日々元気につとめております。皆様ますますご活躍下さい。

●種田 忠夫 (S27年卒54期)

体調不良につき、欠席致します。ご盛会でありませう様、祈念申し上げます。

●赤澤 高 (S28年卒55期)

「やあー元気がと友の笑顔が連れてくるボプラ、砂山、木造校舎」函館の空気を吸いに出席します。

●大澤 晴子 (S28年卒55期)

いつも御案内、東京白楊だよりのご送付に感謝いたしております。創立120周年おめでとうございます。表紙の元町教会懐かしく拝見しております。

●斎藤 求仁子 (S28年卒55期)

お世話をかけて有難うございます。体調を崩して居ります。皆々様のご健康をお祈りしております。

●佐藤 健 (S28年卒55期)

家内が病気の為、欠席致します。ご盛会を祈ります。

●滝澤 滋子 (S28年卒55期)

ごめんなさい。出席したい気持ちは満々なのですが、よる年波にはどうやら勝てず、今回は休みになります。私の同級生の参加者どうぞよろしく伝えてください。



●浅岡 勤 (S 29年卒 56期)  
 ここ数年5月、箱館戦争で親子3人とも討死し、その名を町名に残している中嶋三郎助父子碑前祭に浦賀の会が中島町会と友好町協定を結んで20年になるので、浦賀から50人のツアーを案内して行つてます。

●加藤 正秋 (S 29年卒 56期)

福祿会東京の皆さま今日は、同期の懇親会は終了としましたが、物淋しいと思われる方は、この同窓会へ出て来て下さい。後輩の設営した場をかりて、我が同期会の場にすり替えては？

●澤田(堀川)経子 (S 29年卒 56期)

役員の皆様の貢献に御礼申し上げ、盛会で素敵な交流でありますように。

●川口(大島)千代 (S 30年卒 57期)

函館中部高も本年創立120周年ですね10/17・18は函館でお会いします。いつもお世話様です。感謝いたします。

●小竹(滝田)嘉子 (S 30年卒 57期)

お世話になります。よろしくおねがいします。

●佐々木(菅原)宏子 (S 30年卒 57期)

いつもありがとうございます。私は元気にしておりますが、主人が調子悪く出かけられません。皆々様によりよくお伝え下さい。

●野村(奥村)敦子 (S 30年卒 57期)

なつかしい母校の会報をお送り下さいましてうれしく拝見いたしました。卒業していつの間にか60年。幸い元気で主婦として頑張つて居ります。

●吉田 精吾 (S 30年卒 57期)

「料理でおもてなし」を始めて、早いもので20年になる。おかげで多くの出会いを通じて心身とも充実した日々を

過ごしている。10月には傘寿記念の同期会が故郷で開催の由、元気な今のうちにみんなと旧交を温めるのが楽しみです。

●五十嵐克至 (S 31年卒 58期)

ご案内ありがとうございます。調整がつかず今回欠席いたします。この会がご盛況でありますようお祈りいたします。

●岩間 征一郎 (S 31年卒 58期)

御盛会を祈ります。

●唐沢 フミ子 (S 31年卒 58期)

ご盛会を祈ります。

●近藤 好介 (S 31年卒 58期)

今年はお出陣しようと思つていましたが、地域の老人会の役員会とバッティングしており欠席せざるを得ません。

●武田 愛子 (S 31年卒 58期)

幹事の皆様、お世話様でございます。夫を始め私ファミリー総勢11名、元気に仲良くくらししています。昨年夫婦共々喜寿を迎えました。私は趣味はなしですが、夫は絵を描いています。

●田林 誠一 (S 31年卒 58期)

不治の肝ガンで長期入院中です。当日は千の嵐になって参加します。

●吉田 繁司 (S 31年卒 58期)

ご案内いただきありがとうございます。体調不良のため欠席させて頂きます。

●伊藤 光司 (S 32年卒 59期)

「東京白楊だより」ありがとうございます。同窓会の盛会をお祈りします。

●榎 次郎 (S 32年卒 59期)

年令相応に元気でやつております。

●柘澤 森二 (S 33年卒 60期)

在学時に創立60周年、記念行事の講

演者、亀井勝一郎先輩の著書「大和小寺風物誌」を今も愛読している。

●宮川(成田)満子 (S 33年卒 60期)

幹事の皆様、大変お世話になります。年を重ね失うものも多いこの頃ですが、この年で得るものもあり楽しく過ごしております。

●佐藤(間瀬)穎 (S 34年卒 61期)

一度も参加したことのない白楊ヶ丘同窓会東京支部どんなにかすばらしい出会いが楽しく懐かしい大会なのでしょうね。折りをみてといつても年が重なつてしまいますね。皆様どうぞお元気で。

●鎌形(野村)寛子 (S 35年卒 62期)

会報いつも楽しみにしております。編集の方々ありがとうございます。

●宮島 暁美 (S 35年卒 62期)

この夏、なつかしの函館、母と共に رفتてきました。母が年なのでこれが母にとつて最後の旅行かな？となつかしさひとしおでした。

●関(吉林)明美 (S 37年卒 64期)

白楊だより、楽しみにしています。幹事の皆様に感謝しています。

●富村(相馬)陽子 (S 39年卒 66期)

いつもお世話になりました。ありがとうございます。

●水口 武 (S 39年卒 66期)

元気ががんばつております。

●高橋(澤田)公子 (S 40年卒 67期)

いつもお知らせいただきありがとうございます。孫が2人になりました。

●西村(阿部)映子 (S 40年卒 67期)

「白楊だより」ご送付ありがとうございます。いつも楽しみに拝読させていただきます。

●田中(笹森)恵子 (S 41年卒 68期)

函中創立120周年、オメデトウ！でございます！10月17日は函館の式典に参加させて頂きます。私にとってこのような式典参加は最初で最後かと思っております。しっかりと自分の高校時代を懐かしんで参ります。どうぞヨロシク。

●瀬戸 武一 (S 42年卒 69期)

諸先輩方、それに後輩の方々がそれぞれアクティブに活躍されているのが感じ取れますし、本当に元気をもらいますね。

●佐藤 和明 (S 43年卒 70期)

とりあえず毎日元気に仕事してまいります。

●牧野 正寛 (S 43年卒 70期)

会報を懐かしく拝見致しております。

●川村 哲雄 (S 44年卒 71期)

来年は我々71期(昭和41年より実施の全道8学区による「大学区制」での最初の入学で昭和44年卒)が「函中入学50周年」の年となり、北海道新幹線も函館まで開通しますので、我々東京勢と地元在函者だけに限らず、全国合同の同期会を函館で開催出来たらなと思つております。

●須貝(関)友紀子 (S 45年卒 72期)

会報楽しく読ませていただきました。

●竹鶴(高杉)百合子 (S 45年卒 72期)

皆様のお元気な活躍をいつも楽しく読ませていただいております。有難うございます。

●松山(中浜)雅子 (S 45年卒 72期)

皆様のご尽力に感謝いたします。

●沖本 美幸 (S 46年卒 73期)

阿蘇の別荘にはぼ一年中滞在しています。

●清水(宮口)恵子 (S 46年卒 73期)

会報の表紙写真に私の好きなナナカマドが入っていて嬉しかったです。赤い実に積もつた雪の風景が特に好きです。

●高田 恵子 (S 46年卒 73期)

今年9月、15年ほど勤めた会社を退職いたしました。毎日が経済の流れによつて大きく波立つ、頻りにリストラムあつたきびしい職場でしたが、何とか守られてきました。今後は健康に留意して、どう社会へ還元できるかをまた模索中です。

●桑原 洋子 (S 48年卒 75期)

1年定年伸びて、現在パートです。自転車通勤です。

●富田 剛 (S 48年卒 75期)

技術者人生の一区切りを迎えました。今後は何等かの形で社会のお役に立てることはないか模索しております。

●森野 光代 (S 54年卒 81期)

地域柄、星亮を眺める機会が多いです。気流の影響の少ない北緯24の地では、今もつつすらと天の川を楽しめます。

●清水 真 (S 55年卒 82期)

東京医科歯科大学の倫理委員、日弁連の外弁綱紀委員を今年から兼務しています。

●寺邑 啓太 (H 26年卒 116期)

大学生活を楽しんでいます。御盛会を御祈りいたします。

●林 桃子 (H 27年卒 117期)

よろしくお祈りします。





### 平成27年度収支実績および 平成28年度予算（単位：円）

	27年度実績	28年度予算	
収入	年会費収入	1,569,000	1,650,000
	大会費収入	1,288,000	1,450,000
	寄付金収入	339,000	300,000
	会報広告収入	95,000	100,000
	その他	194	0
	合計	3,291,194	3,500,000
支出	大会関連費用	1,363,821	1,510,000
	会報関連費用	915,016	920,000
	ネット関連費用	77,350	80,000
	会議費	222,471	240,000
	派遣旅費	205,756	220,000
	通信運搬費	168,218	180,000
	その他の運営費	269,511	330,000
	予備費	0	20,000
合計	3,222,143	3,500,000	
差引収支残	69,051	0	
次期繰越剰余金	5,486,184	5,486,184	

### ご寄付御礼

村田秀樹(72期)記

昨年度は37名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。(敬称略 アイウエオ順)

37期 風間健吉	長島 康/東川正秀/森実貢尚
40期 今井清	53期 阿部彰子/新谷義克
42期 山内正弥	54期 遠藤宏/後藤泰雄/澤口幹雄/
43期 統豊/神山茂郎	松田守正
45期 石田準之助/伊藤貞男/	55期 川村和子/早乙女節子/横井静子
田沼修二/橋場邦武/	59期 新田正勝
室田穎一郎	62期 志野幸男
46期 大島隆/多和田昭二/	63期 土橋道子
渡辺保二	64期 二宮信子
47期 堀田善和	68期 今井浩三
49期 下河原修	69期 齊藤裕子
52期 岡川伸/兼松昌男/佐々木宏司/	78期 島津路郎

誠に残念なことに、年会費の納入者数が年々減少しており、当支部の財政は、未だにひ弱な状態です。本年も引き続き皆様からのご寄付を募っております。お志のある方はご協力をお願い申し上げます。

取り扱い金融機関：郵便局  
**口座番号：00190-1-124291**  
 白楊ヶ丘同窓会東京支部  
 郵便局備え付けの用紙、または会報に同封の  
 払込票をご利用ください。

日時；平成28年4月26日(火) 18:30～19:30

場所；インテリジェントロビー・ルコ D2会議室

新宿区揚場町2-1 軽子坂MNVビル

出席者 32名

安田支部長の挨拶に引続き、以下の議案について配布資料を基に審議し全議案とも承認された。

#### (1)平成27年度事業報告

親睦大会、東京白楊だより、ホームページ、渉外活動、総務等。

親睦大会は、85期の企画により「映画監督が語る被写体としての函館」と題して富樫監督と85期の木村建哉氏のトークを実施。175名が参加された。

また、東京白楊だよりは24ページフルカラー化を継続、立派な会報と高い評価をいただいた。

#### (2)平成27年度収支決算報告

年会費収入が予算に対し未達であり、また、会報発送料は予算に対しオーバーしたが、会報印刷費、運営費等の低減により、差引収支残は69,051円の黒字であった。真船監事による監査報告。

#### (3)平成28年度事業計画案

親睦大会、東京白楊だより発行、ホームページ、渉外活動、同好会活動、総務等  
 今年度親睦大会は理事会メンバーを中心に各期有志の協力を得て10月22日実施の予定。

#### (4)平成28年度収支予算案

昨年度の実績を参考に予算を編成、会報は全頁カラーを継続、発送はさらにコストアップを回避できる方法を検討する。

#### (5)役員異動の件

安田支部長(67期)の任期満了に伴い退任、新支部長として白川正広副支部長(76期)を選任。

現副支部長松田幹夫氏(67期)、梅田やよい氏(69期)、加納元雄氏(71期)は任期満了に伴い退任、理事として選任。

高野勝弘氏(76期)、岡部あさ子氏(78期)、垣坂清氏(78期)、松永久氏(81期)を副支部長に選任。

加戸茂樹氏(85期)を理事として選任。

現監事 真船昭氏(59期)、片瀬裕巳氏(80期)を引続き次期監事として選任。

引続き、同会場において会費制で懇親会を実施した。



# 白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第40回親睦大会のご案内

ゲストイベント

津軽三味線 北村姉妹

**とき** 2016年10月22日(土) 13:00開演 (12:30~受付開始 15:00終了予定)

**ところ** グランドアーク半蔵門 **参加費** 8000円 学生無料 (ただし年会費3,000円納入者のみ適用・当日会場での納入可)



## グランドアーク半蔵門 ご案内

〒102-0092東京都千代田区隼町1番1号 tel.03-3288-1628

### ACCESS

- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩2分
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」3b出口より徒歩3分  
※3b出口はエスカレーター部分が1番出口より長く、荷物がある場合に便利です
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」駅エレベーターより徒歩7分
- ・東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩7分
- ・JR「四ツ谷駅」より徒歩15分
- ・東京駅(丸の内南口タクシー乗り場)よりタクシーにて約10分

詳しくは… <http://www.grandarc.com/>

## 北村姉妹 プロフィール

幼少より父、北村正貴(きたむらまさたか)に津軽三味線を習う。津軽三味線の全国大会において、姉妹ともに団体の部と個人の部で優勝。正統津軽三味線の研鑽を積む傍ら、日本の民謡にオリジナルのアレンジを加え、息の合った三味線を奏でる唯一無二の姉妹ユニット。最近では、和楽器と洋楽器の融合したバンドにも積極的に参加



### 姉妹での活動

- 2008年「青森県郷土芸能協会主催」  
津軽三味線全国大会 団体の部 優勝
- 2014年「高松宮殿下記念世界文化賞」歓迎行事  
(明治神宮本殿)にて奉納演奏

- |      |       |                |            |
|------|-------|----------------|------------|
| 姉 まお | 2009年 | 「(公財)日本民謡協会主催」 |            |
|      |       | 津軽三味線全国大会      | ジュニアの部 優秀賞 |
| 妹 みり | 2010年 | 「青森県郷土芸能協会主催」  |            |
|      |       | 津軽三味線全国大会      | 一般女子の部 優勝  |
| 姉 まお | 2009年 | 「(公財)日本民謡協会主催」 |            |
|      |       | 津軽三味線全国大会      | ジュニアの部 準優勝 |
| 妹 みり | 2010年 | 「津軽三味線全日本金木主催」 |            |
|      |       | 津軽三味線全国大会      | 中高生の部 優勝   |

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様、今年の親睦大会は、最近恒例となつた皇居の杜を臨むホテル「グランドアーク半蔵門」にて開催いたします。

今年は理事会メンバーと各期有志の皆様により幹事を務めさせていただきました。当日は大先輩から最近の卒業生まで大いに語らい、交流を深めていただければ幸いです。

故郷を離れての月日は、それぞれ異なることと思いますがいつも心の隅にあるのは「はこだて」ではないでしょうか。

今年のイベントは郷愁を感じただけで終わらせないで、「津軽三味線」を企画いたしました。奏者の北村姉妹は全国大会優勝の実力者です。道南の皆様は北東北ゆかりの方々も多いと聞いております。北東北、函館は共通の空気が流れているものと考えます、是非津軽三味線の音色をお楽しみください。また同窓生写真家が撮り貯めた「最近の函館風景」を会場に展示いたします。写真の中に思い出を見出し話題のネタとしていただければ幸いです。写真の中に出会いし話題のネタとしていただければ幸いです。

是非皆様お誘い合わせの上お集まりください。

(幹事一同)

### 編集後記

昨年まで、ペラ刷りの校正をしていましたが、本号から原稿段階での校正も仰せつかりました。

ペラと原稿では見える景色が大違い。原文を最大限尊重しつつ、著者の意図が正しく伝わるか、文法的に合っているか、なごしく小さな「う」胸を悩ませつつ、ようやく発行にこぎ着けました。

それでも無くならないのが誤植。お気付きの方は是非「一報を」。

(加納元雄 71期)

今回の会報にはライフワークとして、殺陣クラブの活動を掲載してもらいました。仕事とは違う環境での活動は、有意義な関わりだなと思えます。

同窓会の活動もその一つで、これからも楽しみながら関わらせていただきたいと思います。

(朝緑高太 99期)

2012年より編集責任者となり紙面のカラー化に取り組み、同時に紙面の内容についてもより面白くしたいと思つてきたが、今年新しい記事として「函・中・人」を企画した。同窓の中にも知らない世界で活躍している方が大勢いますので紹介をしたいと思います。

読んで楽しく、且つ発信する会報を目指しています。

(山田朗 73期)

表紙写真及び会報内函館写真  
72期 フォトグラファー 丹羽修

### 函館の写真募集!



事務局までお送りください。  
kanchu-tokyo@r6.dion.ne.jp